

II 3 A・5 B調査区出土の子持ち勾玉について

新海正博

平成4年度に調査をおこなった3 A調査区から2点、平成7年度に調査を行った5 B調査区から1点の子持ち勾玉が出土している。この子持ち勾玉は調査区中央部を東西に貫流する谷の埋土を掘削中に須恵器や土師器とともに出土したものである。包含層の掘削作業中であつたために出土状況などは確認できなかつた。

Iは残存長7.9cm、残存幅(最大)4.1cm、厚さ(最大)2.2cmである。頭部を欠損するが本体はやや均整を欠くC字形をなすと思われる。下端部はやや丸みを持ち四角くおさめている。石材は滑石で、多少風化が進んでいる。断面形は扁平な長方形に近い。本体には幅1~2mm程度の細い溝状の工具痕が残る。

子には欠損しているものが多いが、小勾玉状のものと方形の突起状になったものとがみられる。腹面の子は突起状になっており、長さ2.2cm・幅1.4cm・厚さ1.3cmを測る。本体との接点にはわずかな段がみられる。背面には2個の子がかろうじて確認できる。これらはそれぞれ小勾玉状になる可能性があり、最低2個以上の小勾玉状をなす子があつたと考えられる。A側面には3個の突起状の子が確認でき、B側面には1個の小勾玉状をなす子と2個の突起状の子がある。B側面のありかたからみればA側面の上部の子は小勾玉状をなす子の一部かもしれない。

頭部貫通孔の残りは良くないが径は0.5cmと思われる。片面からの穿孔である。

IIは残存長7.3cm、幅(最大)2.1cm、厚さ1.7cmを測る。両端部を欠損しており、全体の形状は不明である。石材は滑石であり、多少風化が進んでいる。断面形は扁平な長方形である。本体は丁寧に研磨されており工具痕は残っていない。

子は方形の突起状のものばかりである。腹面の子は突起状になっており、長さ2cm、幅1.5cm、厚さ1.3cmである。本体との接点には段を持たない。背面には本体に刻みを入れ方形の突起状の子を4個作りだしている。A・B側面には4個の方形の突起状の子がある。それぞれ独立して作りだされている。

頭部貫通孔は径0.5cmを測り、両側から穿孔されている。

IIIは残存長8.3cm・幅5.3cm・厚さ1.8cmを測る。頭部貫通孔より上部が欠損するが本体は縦長のC字形をなす。下端部は先すぼまりに作られている。石材は滑石で、多少風化が進んでいる。本体には細かな擦痕が多くみられる。

子はA側面のものが幅1cm程度のノミ状工具で全て削り取られている。B側面のものは長さ4.5cm・幅0.7

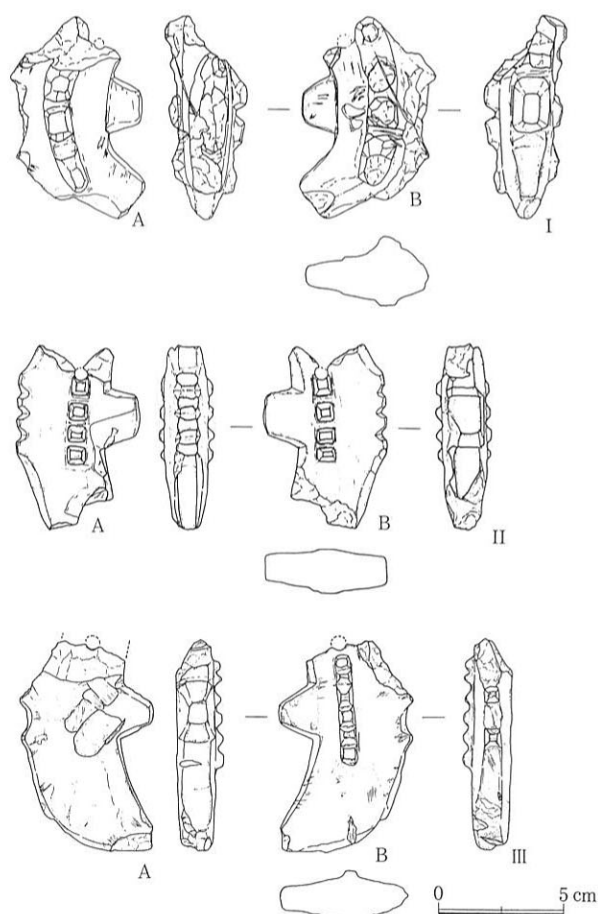


図4-II-1 3 A・5 B地区出土子持ち勾玉

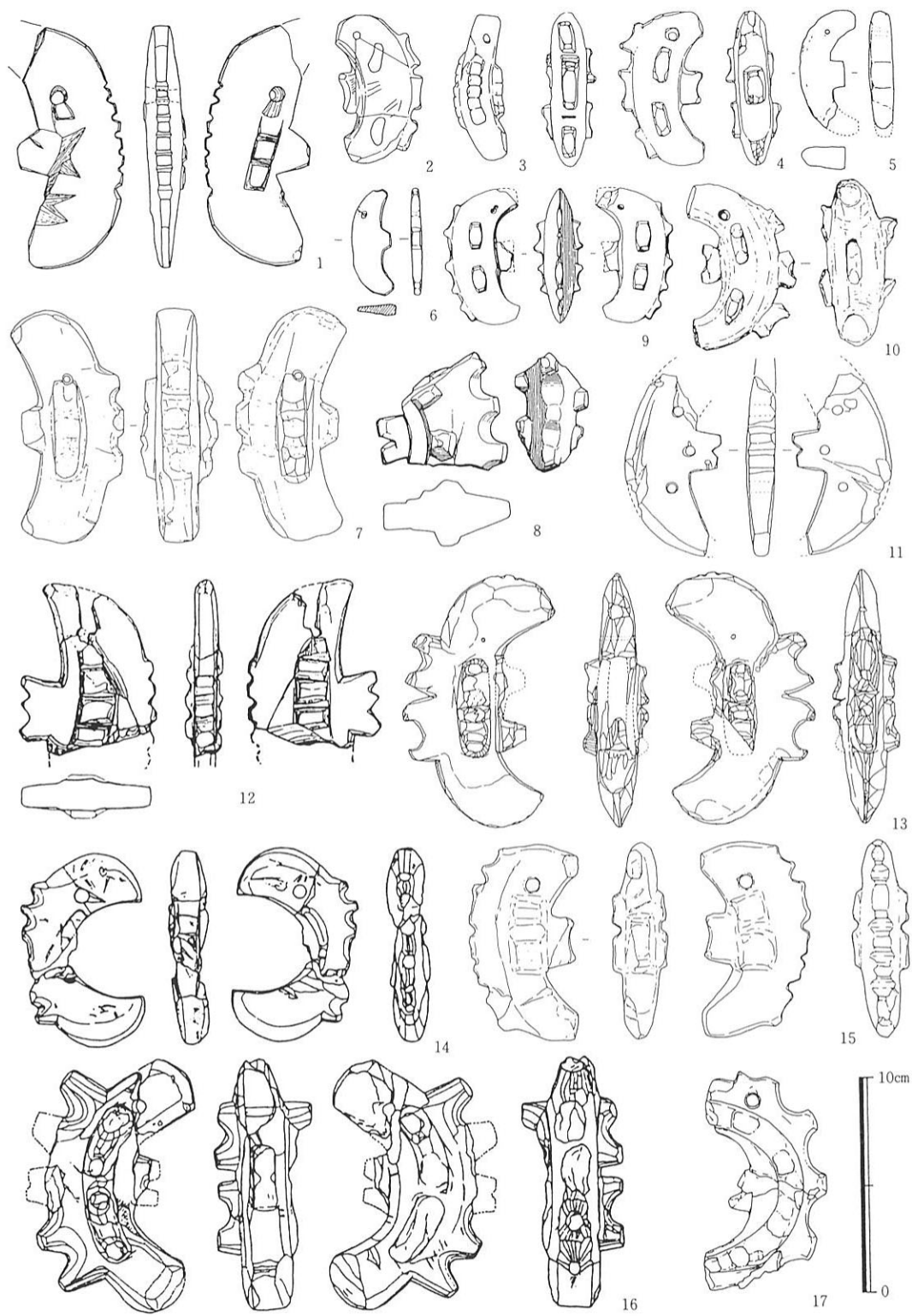


図4-II-2 大阪府出土子持ち勾玉(1)

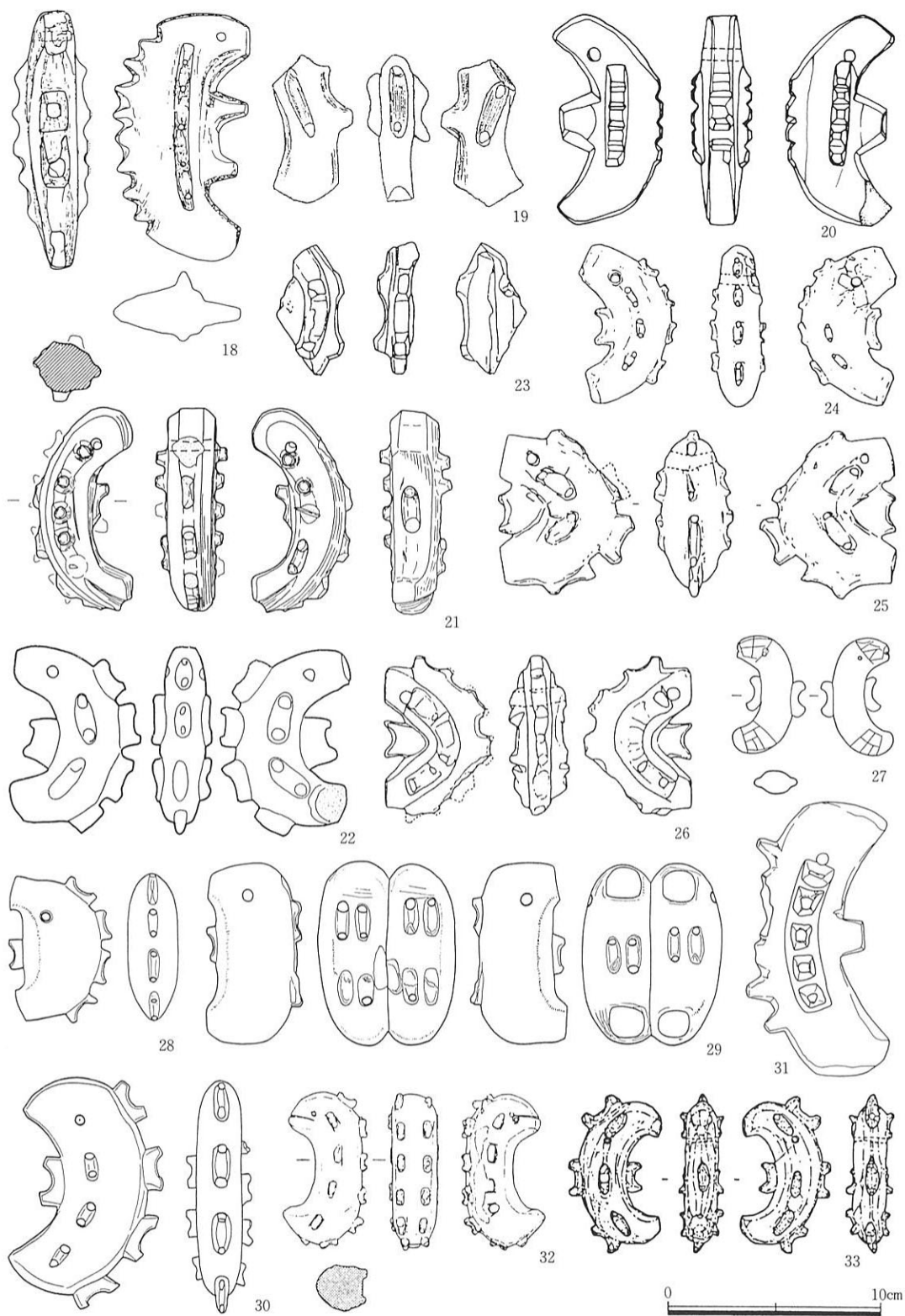


図4 - II - 3 大阪府出土子持ち勾玉(2)

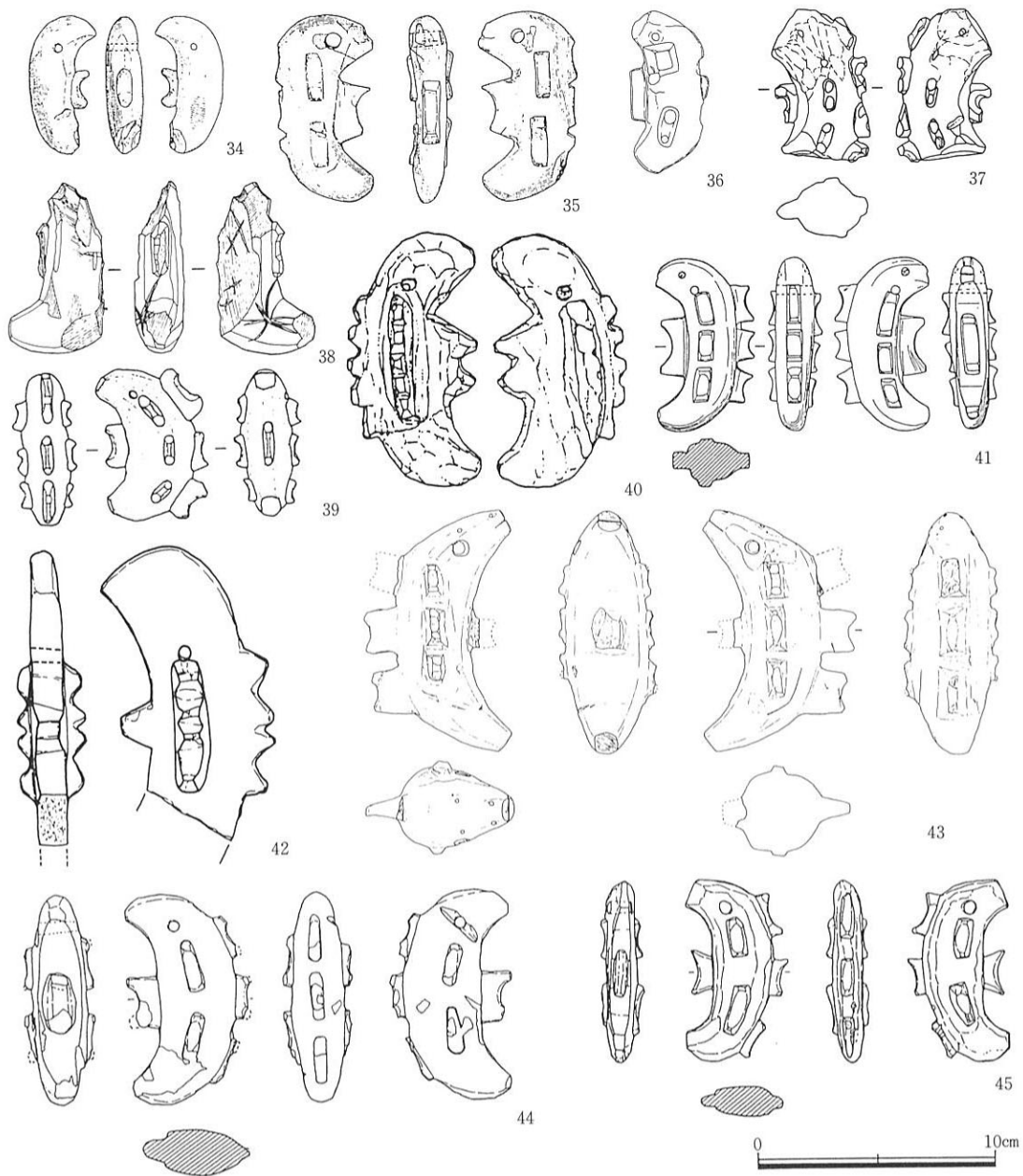


図4-II-4 大阪府出土子持ち勾玉(3)

cmを測る細長い台を削り残し、その台を6分割して子を作り出している。腹面の子は突起状になっており、長さ2.1cm・幅1.5cm・厚さ1.4cmを測る。背面には背の低い山状の子が2つ削りだされている。

頭部貫通孔はB面側からの片側穿孔であり、径0.6cmを測る。

子持ち勾玉の所属時期は大平茂氏の型式編年(大平1989)に依拠して考えてみたい。大平氏は勾玉本体(親勾玉)の変化を重視し、本体断面の比率と本体の反りの比率で分類している。3A調査区出土の2例はIが断面の比率0.63・反りの比率0.56、IIが断面の比率0.56・反りの比率0.41?となる。この数値から導き出される時期はIが6世紀前葉(大平Ⅲ型式)に、IIが6世紀中葉(大平Ⅳ-2型式)に比定できる。5調査区出土のⅢは断面の比率0.67・反りの比率0.48である。この数値から得られる時期は6世紀前葉(大平Ⅲ型式)である。この結果は谷出土の土器の年代観と矛盾せず、妥当ではなかろうか。大阪府からは32遺跡47点以上(1994年6月現在)の出土が知られ、堺市と東大阪市を中心とした地域に

分布の中心がある。資料の多くが包含層出土であり所属時期や出土状況を明確にできないうらみがある。全国的に資料を集成した大平氏によれば時期決定を行なえる資料は39例存在し、そのうち10例（25%）が水と関係する溝や井戸などからの出土となっている。この10例の時期は5世紀後半から7世紀までであり、祭祀の時期的な傾向は窺えず普遍的な在り方である。この事実は子持ち勾玉を使用する祭祀形態の一つの姿を示すものと捉えられる。大阪府の出土例（両調査区出土例以外に）にも5例の水に関する遺構出土のものがみられる。こうした祭祀形態の存在から類推すると両調査区出土の3例も水に関する祭祀に伴っていた可能性が認められる。

3点の子持ち勾玉は2 B 調査区で検出された谷1での祭祀関連土器群とともに上町台地上での古墳時代集落の祭祀形態を考える上で重要な資料である。ひいては古墳時代集落（集団）の性格を考える上でも無視することができないものと言える。

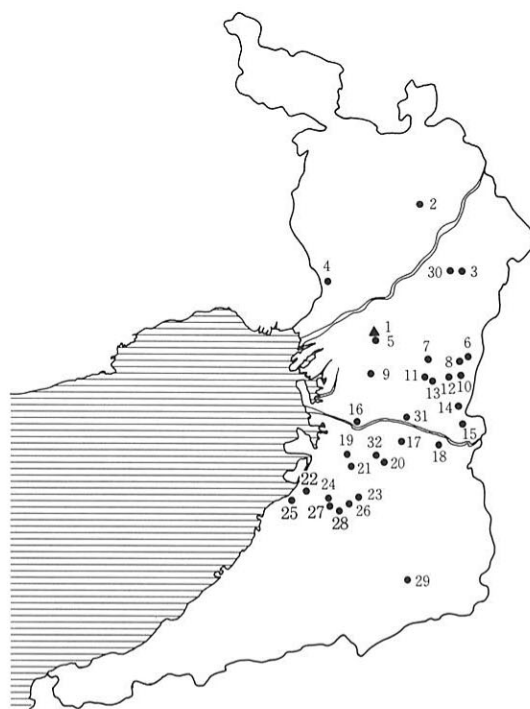


図4-II-5 子持ち勾玉出土遺跡

参考文献

- 1) 茨木市教育委員会 『茨木市郡遺跡発掘調査概報—上穂積・畑田地区—』 1978
- 2) 瀬川芳則 編者 『寝屋川市文化財図録Ⅰ』 寝屋川市教育委員会 1984
- 3) 豊中市教育委員会 『豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 1984年度』 1985
- 4) 中尾芳治 「難波宮造営前の遺跡調査報告」『難波宮址の研究』5-2 1965
- 5) 大阪市文化財協会 『難波宮址の研究』第7 1981
- 6) 大阪市文化財協会 『難波宮址の研究』第9 1992
- 7) 東大阪市教育委員会 『東大阪市文化財調査報告書第1冊 山畑古墳群1』 1973
- 8) 東大阪市文化財協会 「瓜生堂遺跡の調査」『財東大阪市文化財協会概報集1988年度』 1989
- 9) 東大阪市文化財協会 「瓜生堂遺跡の調査—ガソリンスタンド建設に伴う調査—」『財東大阪市文化財協会概報集1988年度』 1989
- 10) 大阪市教育委員会・大阪市文化財協会 「東谷邸建替工事に伴う桑津遺跡発掘調査（KW92-14）略報」『平成4年度大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書』
- 11) 大阪文化財センター 『友井東（その1）近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書』 1984
- 12) 大阪府教育委員会 『池島遺跡発掘調査概要』Ⅰ 1986
大阪文化財センター 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅻ-90-1・90-4 調査区（1990～1992年度）の調査概要』 1995
- 13) 大阪文化財センター 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅳ-90-1 調査区1990年度の調査略報—』 1991
- 14) 大阪文化財センター 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅷ-90-1 調査区1991年度の調査略報—』 1992
大阪文化財センター 『池島・福万寺遺跡発掘調査概要Ⅻ-90-1・90-4 調査区（1990～1992年度）の調査概要』 1995
- 15) 金谷克巳 「河内八尾発見の子持ち勾玉」『若木考古』62 1962
- 16) 佐野大和 「子持ち勾玉」『神道考古学講座』 1981

- 17) 瓜生堂遺跡調査会 『恩智遺跡』 1980 他
- 18) 北野重 『大泉遺跡—堅下小学校屋内運動場に伴う—1985年度』 柏原市教育委員会 1988
- 19) 積山洋 「大阪市山之内遺跡出土の子持勾玉をめぐって」 『古代文化』 37巻 1985
- 20) 末永雅雄、森浩一 『河内黒姫山古墳の研究』 大阪府教育委員会 1953 他
- 21) 阪田育功 「第15調査区」 『土師の里遺跡発掘調査概報Ⅱ』 大阪府教育委員会 1980
- 22) 古代学研究会 『堺市百舌鳥赤畑町カトノボ山古墳の研究』 1953
- 23) 森浩一 「子持ち勾玉の研究」 『古代学研究』 第1号 古代学研究会 1949
- 24) 大阪府教育委員会・大阪文化財センター 『松原市観音寺遺跡第2次発掘調査概要—近畿自動車道と歌山線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書』 1986
大阪府文化財調査研究センター 『大阪府松原市所在 観音寺遺跡—近畿自動車道松原那智勝浦線建設に伴う発掘調査報告書—』 1998
- 25) 堺市教育委員会 『堺市文化財調査概要報告』 27 1992
- 26) 奥田豊 他 『土師遺跡50年度発掘調査概報』 堺市教育委員会 1976
- 27) 三宅正浩 「第Ⅱ地区の調査」 『大園遺跡発掘調査概要Ⅳ』 大阪府教育委員会 1981
- 28) 京都大学文学部 『京都大学京都大学文学部博物館考古資料目録第2部日本歴史時代』 1968
- 29) 大阪文化財センター 『西浦橋遺跡現地説明会資料(Ⅱ)』 1983
- 30) 大阪府教育委員会 『大阪府文化財調査概要1968 七ノ坪遺跡発掘調査概報』 1969
- 31) 中村浩 他 『陶邑・深田』 大阪府教育委員会 1973
- 32) 服部文章 「山田北遺跡の調査」 『第21回大阪府下埋蔵文化財研究会資料』 1990
- 33) 中村浩 編者 『陶邑Ⅱ』 大阪府教育委員会 1978
- 34) 河内長野市教育委員会 『河内長野市文化財調査報告書第24集 河内長野市埋蔵文化財調査報告9』 1993
- 35) 寝屋川市教育委員会 『長保寺遺跡現地説明会資料』 1992
- 36) 京嶋覚 「長原遺跡出土の皮袋形瓶・子持勾玉・土馬」 『葦火』 3号 1986
- 37) 三木弘 「大阪府の概要」 『第2回 東日本埋蔵文化財研究会 古墳時代の祭祀 祭祀関係の遺跡と遺物』 第3分冊 西日本編 近畿・山陽・山陰・九州・発表要旨・文献目録・四国地方 東日本埋蔵文化財研究会 1993
- 38) 大平茂 「子持ち勾玉年代考」 『古文化談叢』 第21集 九州古文化研究会 1989
- 39) 佐々木幹雄 「子持ち勾玉私考」 『古代探叢Ⅱ』 早稲田大学出版部 1985
- 40) 国立歴史民族博物館編 「祭祀関係遺物出土地地名表」 『共同研究「古代の祭祀と信仰」 附篇』 『国立歴史民族博物館研究報告第7集』 1985

表4-II-1 大阪府下出土子持ち勾玉一覧

地図	遺跡名	遺物	所在地	出土状況	全長	幅	厚さ	子の数量	時期	備考	文献
1	大坂城跡	I	大阪市	自然流路	7.9	4.1	2.7	背3個、側面4個			
		II			7.3	4.9	1.7	背4個、側面4個			
		III			9.1	5.3	1.7	背3個、側面6個			
2	郡遺跡	1	茨木市	包含層	11.5	5.2	2.2	背6個、側面3個?	6c初頭~中葉		1
3	太秦古墳群	2	寝屋川市		7	2.6	1.2	背3個、側面2個		*	2
		3			7	1.7	1.2	背7個、側面5個		*	2
4	島田遺跡	4	豊中市	落ち込み	7.3	4	2.4	背3個、側面2個×2	6c?		3
5	難波宮跡	5	大阪市	住居址	6	2	1.4	背0個、側面0個	6c末葉~7c前葉		4
		包含層		5.1	1.9	0.6	背0個、側面0個			5	
		包含層		11.2	5	3.8	背3個、側面3個×2			6	
6	山畑22号墳	8	東大阪市	古墳	5.6	3.4	3.1	背3個以上、側面2個以上	6c末葉~7c初頭		7
7	瓜生堂遺跡	9	東大阪市	包含層	6.5	3.1	2.3	背3個、側面2×2個	(奈良~平安)		8
8	えの木塚古墳	10	東大阪市	古墳	7.9	4.3	3.6	背3個、側面2個	5c前半		9
9	桑津遺跡	11	大阪市	包含層	8.6	4.6	1.4	背0個、側面0個			10
10	大賀世古墳	12	東大阪市		12	6.3	1.8	背3個以上、側面4個以上			9
11	友井東遺跡	13	東大阪市	自然河川	12.1	5.8	2.9	背2個、側面2個×2	6c後葉		11
12	池島福万寺遺跡	14	八尾市		9.2	2.7	1.9	背6個以上、側面?	6c前半		12
		15		井戸	9.2	4.8	2.5	背5個、側面2個	6c初頭		13
		16			11.8	4.8	3.6	背3個、側面4個	6c前半		12
		17		包含層	10.4	4.5	3.9	背4個以上、側面4個以上		*	14
13	萱振遺跡	18	八尾市	包含層	12.3	4.7	3.2	背8個、側面5個			15、16
14	恩智遺跡	19	八尾市	包含層	7.2	3.2	2.8	背1個以上、側面1個以上			17、23
15	大泉遺跡	20	柏原市	包含層	10	4.8	2.8	背4個、側面5個	7c		18
16	山之内遺跡	21	大阪市		9.6	4.9	3.1	背5個、側面5個	5c後半~6c前半		19
17	黒姫山古墳	22	美原町		8.2	2.7	2.1	背4個、側面2個			20
18	土師の里遺跡	23	藤井寺市	包含層	6	3.3	2	背2個以上、側面2個以上	5c後半~末		21
		包含層		7.7	3.3	2.7	背4個、側面3個			21	
		包含層		7	6.3	3.7	背4個、側面2個			21	
		包含層		6.6	5	2.7	背5個、側面3個?			21	
19	カトンボ山古墳	27	堺市	主体部	5.5	2.1	1	背1個、側面0個	5c中葉		22、23
		主体部		6.8	3.7	2.4	背4個、側面0個			22、23	
		主体部		8.7	3.7	3.2	背2個×2×2、側面0個			22、23	
		主体部		10.5	4.2	2.5	背4個、側面3個&4個			22、23	
20	観音寺遺跡	31	松原市	土坑44	13.5	4.6	?	背7個以上?、側面5個×2		*	24
21	土師遺跡	32	堺市	土坑	7	2.3	2.3	背7個×2、側面4×2	6c		25
		33		住居址	6.7	3.3	2.1	背3個、側面3個	5c後半		26
22	大園遺跡	34	高石市	包含層	6.1	2.7	1.6	背0個、側面0個	5c末~6c中葉		27
		35			8.4	4	2	背3個、側面2個			27
23	檜葉神社跡	36	堺市		6.8	3.7	1.8	背3個、側面2個		*	28
24	西浦橋遺跡	37			6.6	3.9	2.5	背4個以上、側面3個以上			29
25	七ノ坪遺跡	38	泉大津市	包含層	7.2	2.7	2.1	子の数不明			30
26	深田橋遺跡	39	堺市	溝	6.6	4.4	2.4	背3個、側面3個×2	5c後半		31
27	山田北遺跡	40	堺市	土坑?	11.2	6	?	背5個、側面4個	6c初頭		32
28	野々井遺跡	41	堺市	9号墳周溝	7.4	4	2.4	背3個、側面3個×2	5c中葉		33
29	小塩遺跡	42	河内長野市	包含層	12.5	6.5	1.2	背4個、側面4個	6c		34
30	長保寺遺跡	43	寝屋川市	包含層	10.2	3.8	3.8	背3個、側面6個	5c~6c?		35
31	長原遺跡	44	大阪市	井戸近く	9	5.2	3	背3個、側面2個×2	6c前葉~中葉		36
		45		溝	7.8	4.2	1.8	背3個、側面2個			36
32	丹比柴籬宮遺跡		松原市								37

*: 写真よりトレース